

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 372 回 研究会 会員企業訪問

日 時 令和 6 年 2 月 21 日(水) 午後 3 時 30 分 ~ 午後 5 時 15 分
場 所 株式会社 シャイン工芸 大和郡山市本社工場
内 容 1部 ご講演 代表取締役 川崎 英樹氏
2部 工場見学 製造部 部長 川崎 陽太氏

今回の研究会は、会員企業であります株式会社シャイン工芸さんの大和郡山市本社工場を見学させて頂きました。当社は、昭和 46 年に大阪府八尾市にて創業、今年で 52 年目を迎える企業で、「地球をもコーティングするという夢を実現させるため人にやさしく環境と調和を考えた製品づくり」を基本理念のもと、地域社会の繁栄や産業の発展への貢献を目指しておられます。

(1 部 ご講演)

1 部は、当社社長の川崎英樹氏よりご講演を頂きました。冒頭に芳仲会長より成長されている企業の秘訣、活気ある企業経営を学ぼうとご挨拶を頂きました。

ご講演では川崎社長より当社の沿革及び事業内容について、お話を頂きました。昭和 46 年に大阪府八尾市にてサンドブラスト加工及び金属溶射加工事業者として創業、その後フッ素樹脂加工技術を高めると共に米国デュポン社とテフロン加工ライセンス契約を締結されました。需要の拡大に対応するべく昭和 56 年には地元である王寺町に工場を増設、昭和 61 年には本社を王寺町に移されました。海外進出にも積極的に取組まれ昭和 62 年に大韓民国にて家庭用調理器具を製造する合弁会社を設立されたのを皮切りに、平成 5 年には中華人民共和国において、魚焼網及び金属加工品を製造する合弁会社を設立、平成 15 年にはベトナム社会主義共和国でグループ企業を設立し日本向けに OEM 製品の生産を開始されました。川崎社長はベトナム法人に対しては立ち上げから関わられてきたとのことです。そして昨年令和 5 年 1 月に大和郡山市に工場を新設し本社を移転されました。ご講演の後半では代表になって取り組まれたこと、特に大きく事業が 2 つ (国内加工品事業と海外生産品を扱う輸入事業) あるなかで、それぞれの事業単体での収益が不明確な状態であったことを改善し、現状の問題点を抽出し、新たな目標設定及び実施方針を掲げて全社員で共有し、国内事業を重点的に強化し採算性を向上されたとのことでした。そのような取組みから将来を考えた時に現状の設備、機能、スペースでは限界があると考え、新工場を取得されたとのことで、まさに未来に向かっての成長戦略を実現するべく邁進しておられます。

また王寺町とのコラボ企画商品で、ふるさと納税の返礼品にも採用されています。「雪丸フライパン」についても開発の経緯や好評なユーザーの反応などを紹介を頂きました。



1部 川崎社長ご講演

(2部 工場見学)

続いての2部は、本社工場を見学させて頂きました。当工場は大和郡山市小泉町の工業地域の一面に位置し、1600坪を超える広い敷地に、斬新なデザインの社屋、機能性の高い工場内レイアウトを実現された工場でした。

当社の主要な加工であるフッ素樹脂加工、セラミック系塗料加工をはじめとする機能性コーティング加工について、基材入荷検品→焼き落とし→マスキング→下地処理(ショットブラスト)→機能性コーティング→焼成→検品→梱包→出荷と工程順に川崎部長より丁寧に解説を頂きました。

新しい工場であり比較的若い工員さんが多く、コストの削減、リードタイムの短縮、品質の向上に取り組んでおられる様子が、工場内の様子や社員さんの活気のある仕事ぶり、各種の掲示板等によりよく解り、参加者各社にとっても大変参考になったかと思えます。



2部 工場見学 川崎部長解説

ご講演そして工場見学のあとの質疑応答では、参加者の皆様より多数の質問が寄せられました。今回は、川崎社長・川崎部長、そしてシャイン工芸の皆様ありがとうございました。